

機械工学科（旧機械・旧知材）

機械工学科の近況



工学研究科教授・機械工学科主任教授

兼子 佳久

卒業生の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

まず教員の異動についてご報告させていただきます。3月末をもちまして、生体計測工学分野の佐伯准教授および材料物性工学分野の岸田助教が他大学にご栄転されました。一方、4月に大阪大学から金崎順一先生が生産加工工学分野に教授として新たに着任されました。金崎教授の専門は、光誘起による表面構造の変化や超微細加工などです。金崎教授は以前、本学知的材料工学科に教員として在籍しておられましたので、今回およそ14年ぶりにカムバックされたこととなります。

学生・大学院生の就職の状況は引き続き好調です。平成30年度は、4年生は15人が就職し、40人が大学院前期博士課程に進学いたしました。また、前期博士課程の大学院生は39人が就職し、後期博士

課程には1人進学いたしました。

10月19日（土）には、本学において日本機械学会関西支部第20回秋季技術交流フォーラムを開催いたしました。日本機械学会関西支部の秋の講演会は、関西支部所属の各懇話会の企画のもとで技術フォーラムという形式で機械工学・技術における最新的话题を提供していただいております。今回は7つ懇話会からなるセッションで、大学や企業の研究者の講演がございました。特別講演では、本学機械物理系専攻の松岡千博教授に「カオスの決定論的記述と未来予測」という題目で最新的话题を提供いただきました。参加者からも好評で、懇親会でも引き続き活発な議論がなされておりました。

末筆ではございますが、今後の皆様のご活躍を祈念するとともに、引き続き機械工学科へのご支援・ご鞭撻をよろしく申し上げます。